

みて！みて！きて！ ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
天神3丁目11番31号
電話 23-5144

プラごみ問題に県も動き出す！

思い切った改革を…。

海洋汚染、大気汚染に繋がるプラスチックごみ、国外への輸出の道も閉ざされ、国内だけで処理しなければならない現状、この追い詰められた問題をどう解決をすればいいのでしょうか…。 昨年の聞いて・まるとく・エコ講座で見学した(株)竹原重建でのあの現状…。 建物一杯に集積されたプラごみの山、それを手作業で次々に運ばれてくるプラスチックごみの袋を破り、瞬時に分けをする姿を見て唾然とすると同時に、何とかしないとの意を強くしました。誰でもその現状を見れば強く思うでしょう。そして、この問題に長野県も「信州プラスチックスマート運動」と明言して動きだしました。ごみ全体の3Rに続いて3Cを挙げました『チョイス—選択—チェンジ—転換—コレクト—回収』飲食店、コンビニでストローを受け取らない、マイバッグ持参、詰め替え用の活用、分別をしっかりと、等々です。これは自分自身でも実践しています。さて、プラスチックごみの一日の処分量を減らすにはどうすればいいのか？外からの締め付けとして、ごみ袋の大きさを変えてみてはどうでしょう。現在ごみ袋は、燃やせるごみ(大・中・小)プラごみ(大・小)燃やせないごみ(大・小)となっていますが、これらを全て中と小にしたらどうでしょう。これしかないと思えば工夫せざるを得ないと思います。

自分もこれまでは袋一杯に詰めて出していました。でもこれではごみ減量にならないと気付きました。そこで考えました。物が増えるのも、収納して置ける場所(押入れ・クローゼット・棚等)、入れ物(箱・段ボール箱・収納ボックス等)があるからです。今のうちの身辺整理をと思い切って収納する入れ物を減らしています。それぞれがその様に制限するしかないと思います。市でも不燃ごみの回収を月2回の方向で考えています。ごみ1回に出せる袋数を2から1にするとか、ごみ袋の大きさを上記のように変えるとか、思い切った改革が望まれます。



★環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

◎古着の回収

7月5日(金) 午前10時から正午

回収する物は、どなたかが着れる状態の衣類で、破れたり、汚れがあったりするものは回収できません。回収できない物はお持ち帰り頂いています。時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

令和元年 7月号

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	古着回収日 10時～12時
6	土	休館日
7	日	休館日
8	月	布ぞうり作り 10時～15時(1回)
9	火	
10	水	
11	木	ネクタイ～箱型ポーチ 10時～15時
12	金	
13	土	休館日
14	日	休館日
15	月	休館日(海の日)
16	火	布ぞうり作り 10時～15時(2回)
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	休館日
21	日	休館日
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	休館日
28	日	休館日
29	月	
30	火	
31	水	

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

プラスチック廃棄物の〈発生の抑制〉と 〈分別排出〉を！！

ごみ減量アドバイザーとして一年以上が経過する中、プラマーク付きプラスチック中間処理施設の見学を通じ、廃棄量と違反ごみの多さに驚くばかりでした。

現在、日本は年間100万t以上の廃プラの処理を海外に頼っていますが、政府は輸出を実質的に停止する方針を打ち出しました。長野県に於いては「信州プラスチックスマート運動」と銘を打ち、プラごみの排出抑制に県民が意識を高くもってもらい、消費者としての行動を促していく事を明らかにしました。

思えば、私の幼少の頃は調味料、飲料水などはすべてビンで、回収し再利用（リユース）していましたが、今はプラスチックのものに囲まれた世の中です。

上田市では日本容器包装リサイクル協会（緑字指定袋のプラごみを収集処理、管理している協会）の容器包装材べール品質検査をされ、その結果、A・B・C・Dの評価で「D」ランクと最下位の評価を受け、広報紙「環境うえだ」の9月16日特別号で「緊急事態」としてルールを守った分別排出の啓発を図りました。次回検査ではAランクになるよう願います。

今、私達に出来る身近な事、マイバック持参、詰め替え用の洗剤などの使用、出来るだけストロー、スプーン、フォーク（使い捨てのプラ製品）等使わない、又、トレー入りの食品を又小袋に入れるなど、2重袋3重袋の習慣を止める。

プラごみを処理している施設では人海戦術の分別作業で、袋の中に小袋入りのプラごみが入りつまっている事に大変苦労をしています。汚れの、違反ごみ混入の無い排出を、もう一度各家庭で確認をして欲しいと思います。

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。



◎わくわく講座（参加費各回100円）

申し込みは7月1日（月）以降、電話でエコ・ハウスへ（受付は電話のみ）。

★ 布ぞうり作り（定員10名）

サラッとした感触が素足に心地よく、外反母趾にも効果あり。

古布を捨てずにカラフルな布ぞうりはいかがですか。

使い古したもめんのシーツ、ゆかた、洋服を裂いて、わらじのように編んで作ります。

・日 時 7月8日（月）、16日（火） 午前10時～午後3時（2回コース）

・持ち物 はさみ、ものさし（30cm位）、昼食

・材料費 30円 材料は各自、手持ちの布を持参してください。

（ゆかた、シーツ、布団カバー等ほどいて、布を5～6cm幅に裂いて持ってきてください。）

★ ネクタイから箱型ポーチ作り（定員8名）

・日 時 7月11日（木） 午前10時～午後3時

・持ち物 ネクタイ数本（洗ってほどいてアイロン）、裁縫道具、裏用布、型紙用紙、昼食

・諸経費 一回100円

・材料費 別途

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」（上田クリーンセンター内） 上田市天神 3-11-31 ☎23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>